

http://www.minamih.net/



10・7・17 (土)
南NEWS NO19

先々週の日曜日、文化大でジュニアユースの練習を観ていたときのことで。みんなとは違った黒っぽい服装で素早く正確なプレーをしているのであんな人コーチにいたかなと思いつつ観ていました。

しばらくして、練習が終わったとき私のところに挨拶に来てくれました。南を昨年卒業した武内君でした。卒業後部活でサッカーをしていましたが南でも練習をしたいと2年生になってから入ってきたのです。

卒業すると挨拶もしない、年賀状や励ましの葉書を出しても何の反応もないOBがいます。私の姿を見て挨拶に来てくれる武内君を嬉しく思いました。

“育てたように子は育つ”みつを、どんな試合でも常に全力を尽くし、チームメイトに声を掛けていた武内君の小学生時代、ご両親の優しさを思い出しました。



■準決勝 (7/11 宮上小)

南八王子 対 なかの 2-1 (前半0-1)

得点者 片寄安さん、片寄優さん

勝てば中央大会出場が決まるという最も大切な試合でしたが、後半に底力を見せて見事な逆転勝利でした。

前半は緊張からなのかボールの収まりが悪く、相手のペースで試合が進みます。集中力も今ひとつで20m以上の相手FKに対して、きちんと壁を準備できずに直接決められてしまいます。でもセンターバックの辻内栄さんと両サイドバックの滝本さん、小沢さんが”なかの”の得意なサイド攻撃を必死に防ぎ、またGK：伊藤さんの安定したキャッチングが冴えて、前半0-1で終えたことが後半の逆襲につながります。

負けたら終わりのトーナメント戦です。後半は勝負に出ます。漆間花さん、片寄優さんをトップに置いて、キャプテン西條さんボランチの位置にあげて攻撃への参加を指示しました。すると、前半は片寄安さんに自由にさせなかった”なかの”の守備が分断され、何度も決定的なチャンスが生まれます。ボランチの安井さんからのスルーパスも有効でした。ところがシュートが甘かったり、キーパーの正面ばかりとなかなか得点できませんでした。

イライラする展開が続く中で、14分に絶好のチャンスが来ます。ゴール正面15mからの直接FK。片寄安さんの強烈なシュートは壁をぶち破りゴールに突き刺さりました。その後も何度も相手ゴールに迫りますが、ゴールをこじ開けることができません。そしてPK戦を覚悟した18分に、今度はペナルティエリアの右サイド外からの、これまた15mほどのFKのチャンスが訪れます。片寄安さんのシュートは枠をしっかりと捕らえファーポスト方向に飛んでいきますが、そこに飛び込んだのが妹の片寄優さん。速いボールでしたが、右足のダイレクトボレーが決まった瞬間でした。

そのまま試合終了で歓喜の決勝進出(中央大会出場)を決めてくれました。久々に全員の絶対勝ちたいという気持ちが伝わってきた素晴らしい試合を見せてくれました。

■決勝 (7/11 宮上小)

南八王子 対 南大沢 0-5 (前半0-1)

せっかくの決勝戦でしたが大敗でした。でもこの試合はおまけということにしたいと思います。中央大会出場を決めた後で集中力も切れていたでしょうし、後半

はゲリラ豪雨に近いコンディションの中(ここまでひどいのは初めてです)で気持ちを高めることができなかったと思うからです。

課題は課題として受け止めて、次に向けて克服して欲しいと思います。まずあまりにも弱かった1対1。簡単に飛び込んでかわされる場面がたくさん見られました。いつも実践に近い1対1を練習していると思いますが、守備についてはその成果があまり見られませんでした。さらには視野の狭さ。せっかくボールを受けたのにあわてて蹴るといった場面がたくさんありましたが、周りが見えていれば、パスでつなげたり、自分でドリブルしたりできたと思います。やっぱりボールを受ける前にどれだけ首が振れるか(見られるか)が大切だと思います。

9月の中央大会まで2ヶ月あります。夏の合宿を含めてまだまだ時間がありますので、練習でしっかりと修正して行きましょう。
by 飛田コーチ

5・6年 南陽台FC練習試合

2010年7月11日

担当コーチ 加藤コーチ 中野コーチ 小松コーチ

別所小学校に於いて4チームによる練習試合が行われました。

参加チーム 南八王子(Aクラス22名) 白百合 関町 南陽台

チームのめあて コミュニケーション サイドチェンジ サポート コンビネーション

◎結果 1勝2敗でした。

第1試合 南八王子 0-2 南陽台

第2試合 南八王子 0-2 白百合

第3試合 南八王子 2-0 関町 得点者 青木君 國廣君

自分たちで決めためあては、試合を重ねるごとに向上してきました。守備から攻撃では國廣君、井上君、能登君のオーバーラップからのクロスがシュートチャンスに結びつきました。三浦君の機を見た攻撃ミドルシュートも見事でした。小沢拓斗君は控えにいても常に声を切らさずにコミュニケーションサポートをしていました。

3試合目は出番の少なかった選手を主にメンバーを組み戦い、GKも牛窪君、末吉君が交代で務めました。山口君のボールキープ、小原君のハット思わせるスイッチプレー、後半MFの牛窪君も果敢にゴールを狙いシュートを打ちました。青木君の得点は、必ずGKの所へ詰めるところから生まれたもので、DF國廣君の得点はフリーキックを直接決めたものでした。(國廣君がFKを蹴るとは思いませんでした。驚きです。)

新Aクラスになって3ヶ月目に入りましたが、チームは成りつつあります。そんな感じを持った1日でした。

by 小松コーチ